

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	028
事務事業名 包括的支援事業費										補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単
担当部 保健福祉部										担当課	幸せ長寿課
位置付けられている計画等										根拠法令及び市条例等	

2 事務事業の目的										望ましい状態	
高齢者に関する様々な相談に対応する「総合相談支援業務」について、年々相談件数が増加(年間2,000件以上)している。平成29年1月から、地域の相談窓口として市内6か所、休日・夜間の対応窓口として1か所業務委託を開始したほか、平成30年度から地域包括支援センター内の相談窓口を支援係に一本化して対応している。課題としては、相談件数が増えていることに加え、緊急性や危険性が高い事例も増えていることから、長期にわたって継続して訪問を行う必要があり、職員の負担が増え続けている。										誰・何を対象に 市民(高齢者に関する相談)	
現状課題										どのような方法・手順で 窓口対応、電話相談、訪問など 地域相談窓口6か所、休日・夜間相談窓口1か所 地域ケア個別会議72回(月1回×6か所×12カ月)	
①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。										望ましい状態 高齢者が安心して生活を続けられるようにするためには、介護保険サービスの充実だけでなく、地域のさまざまな社会資源を活用した支援が必要である。総合相談・支援を通して関係機関や地域とのネットワークを構築し、高齢者に対して横断的・多面的に支援していくことが、安心して生活するための望ましい形につながっていくと考える。	

3 事務事業の主たる成果指標										指標名		地域ケア個別会議開催数	単位	人/回	目標値	15	目標年次	2022	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	地域ケア個別会議は、より良い地域包括ケア実現のために、課題を的確に把握し、解決していくための手段を導き出す会議であり、個別課題解決、地域のネットワーク構築、地域の課題発見、資源開発、政策形成などについて、地域に住んでいる住民、地域で活動している企業など多職種が定期的に集まって話し合っている。この会議の目的を実現していくために必要なのは、多くの方がこの制度を理解し、参加していただくことである。よって、地域ケア個別会議への参加人数を指標とする。
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	-------------	----	-----	-----	----	------	------	----	-------------------------------------	--

4 事務事業の実績										5 担当者評価			
平成28年度 業務名 活動量 ① 総合相談支援業務 年365日 ② 休日・夜間高齢者相談窓口(市内1か所) 年120日 ③ 高齢者総合相談窓口委託(市内6か所 H29.1~) 年60日 ④ 地域包括支援センター運営協議会 年1回 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫										平成29年度 業務名 活動量 ① 総合相談支援業務 年365日 ② 高齢者総合相談窓口委託(市内6か所) 年245日 ③ 休日・夜間高齢者相談窓口(市内1か所) 年120日 ④ 地域ケア個別会議 年72回 ⑤ 地域ケア会議推進協議会 年1回 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫		平成30年度 業務名 活動量 ① 総合相談支援業務 年365日 ② 高齢者総合相談窓口委託(市内6か所) 年245日 ③ 休日・夜間高齢者相談窓口(市内1か所) 年120日 ④ 地域ケア個別会議 年72回 ⑤ 地域ケア会議推進協議会 年1回 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	
目標値に対する実績値 0 人/回										目標値に対する実績値 9.9 人/回		目標値に対する実績値 14.3 人/回	
決算額 (住民一人あたりの行政コスト) 72 円										(住民一人あたりの行政コスト) 186 円		(住民一人あたりの行政コスト) 188 円	

6 担当部長及び担当課長評価		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由 高齢化が進む中、高齢者のニーズ・相談内容が多様化し、相談件数も年々増加傾向にある。これらに対応するための事業として、今後も進めて行く必要がある。			

7 実施計画										8 財務アドバイザーの見解			
令和元年度 ●総合相談支援業務 ・地域包括支援センターでの相談窓口(来庁、電話、訪問) ・相談記録の管理 ●高齢者総合相談窓口委託 ・市内6か所での日中の電話相談窓口(社協、GH香、千の社⇒はにかむ、西部病院、訪問看護いしげ、GH舞夢) ・周知活動の徹底 ●休日・夜間高齢者相談窓口委託 ・市内1か所での電話相談窓口(L・ハーモニー) ・周知活動の徹底 ●地域ケア個別会議 ・参加者 医療関係者、ケアマネ、民生委員、自治区長など ・自由参加のため報酬等は無し ・月1回×6か所×12カ月=年間72回開催 ・個別ケースの対応検討、勉強会などを実施 ・第2層協議体としても活動を行う ・第2層協議体として第1層協議体に事業提案 ・買利物支援事業について第1層協議体に事業提案 ・新たな生活支援対策についての検討 ●地域ケア会議推進協議会 年1~2回開催 ・開催回数は随時(参加委員には報償費あり) ・地域ケア個別会議で検討されたケース等について、市全体の課題となりうる案件について対応を検討し、政策形成、事業化に結び付けていく										令和2年度 ●総合相談支援業務 ・地域包括支援センターでの相談窓口(来庁、電話、訪問) ・相談記録の管理 ●高齢者総合相談窓口委託 ・市内6か所での日中の電話相談窓口(社協、GH香、はにかむ、西部病院、訪問看護いしげ、GH舞夢) ・周知活動の徹底 ●休日・夜間高齢者相談窓口委託 ・市内1か所での電話相談窓口(L・ハーモニー) ・周知活動の徹底 ●地域ケア個別会議 ・参加者 医療関係者、ケアマネ、民生委員、自治区長など ・自由参加のため報酬等は無し ・月1回×6か所×12カ月=年間72回開催 ・個別ケースの対応検討、勉強会などを実施 ・第2層協議体としても活動を行う ・生活支援事業について第1層協議体に事業提案 ・新たな生活支援対策についての検討 ●地域ケア会議推進協議会 年1~2回開催 ・開催回数は随時(参加委員には報償費あり) ・各地域で検討された買利物支援事業を市全域向けに事業化		令和3年度 ●総合相談支援業務 ・地域包括支援センターでの相談窓口(来庁、電話、訪問) ・相談記録の管理 ●高齢者総合相談窓口委託 ・市内6か所での日中の電話相談窓口(社協、GH香、はにかむ、西部病院、訪問看護いしげ、GH舞夢) ・周知活動の徹底 ●休日・夜間高齢者相談窓口委託 ・市内1か所での電話相談窓口(L・ハーモニー) ・周知活動の徹底 ●地域ケア個別会議 ・参加者 医療関係者、ケアマネ、民生委員、自治区長など ・自由参加のため報酬等は無し ・月1回×6か所×12カ月=年間72回開催 ・個別ケースの対応検討、勉強会などを実施 ・第2層協議体としても活動を行う ・生活支援事業について第1層協議体に事業提案 ・新たな生活支援対策についての検討 ●地域ケア会議推進協議会 年1~2回開催 ・開催回数は随時(参加委員には報償費あり) ・各地域で検討された生活支援事業を市全域向けに事業化	

9 行政改革懇談会(市民)の意見			
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。今後高齢者がますます増加していくと予想されるため拡充はやむをえない。高齢者からの相談に対応できる職員の確保に期待する。また、関係機関や地域とのネットワークづくりは急務である。			

11 事務事業の改善理由及び改善部分										10 最終評価(行政改革推進本部)	
改善理由 予算上の増加はないものの、相談件数の増加、相談内容の多様化など、委託先を含め各相談窓口業務は拡大傾向にある。また、地域ケア個別会議においても、地域に住む方の個別ケース相談のほか第2層協議体として地域全体の課題解決にも取り組んでおり、事業を拡大している。現在、各地域で地域の買利物支援対策に取り組んでいるところで、事業化を目指している。また、新たな生活支援対策についても模索しているところである。										最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	

10 最終評価(行政改革推進本部)										11 事務事業の改善理由及び改善部分	
事務事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										評価理由 高齢化が進み、社会環境が変わる中で高齢者のみの世帯や独居高齢者が増えていくと思われる。その中で高齢者のニーズ・相談内容が多様化していくことは必然である。このため、支援体制の強化を行うためにも、事業の拡大も視野に入れ推進していく必要がある。	